

知内区有文書「烏帽子割合帳」

柿本 雅美

本稿は、滋賀県高島市マキノ町知内に保管されている「烏帽子割合帳」を紹介するものである。知内には、古文書を収蔵する帳蔵と呼ばれる近世を中心とした史料および文化財が保管されている蔵があり、本史料もまた帳蔵に納められている。筆者も加わる「村の日記」⁽¹⁾研究会では、二〇〇五年から帳蔵に収蔵された古文書などを用いて、歴史学・民俗学・社会学の総合的な村落調査を進めてきた。そのなかで、近世から現代という長い時間軸における人々の暮らしや年中行事などを資料化するという作業も同時に進めている。

筆者は以前、明治二三（一八九〇）年に廃止となるまで行なわれていた通過儀礼のひとつ、烏帽子着に伴う記録「烏帽子着帳」の資料紹介を行なった。⁽²⁾烏帽子着は宮座組織における成人儀礼のひとつとしてよく知られており、知内においても戦前まで諸頭と呼ばれる宮座組織が存在していた。⁽³⁾「烏帽子着帳」には烏帽子着を行なう「出人」やその「親」また「客人」の名前が列挙されているほか、烏帽子着にかかった費用や振舞の献立、振舞の次第などが記載されている。

今回紹介する史料は、この「烏帽子着帳」に付随する「烏帽子割合帳」⁽⁴⁾である。本史料は、烏帽子着に伴う金銭面を主とした帳面であり、寛政七（一七九五）年、文化四（一八〇七）年、文政四（一八二二）年、天保三（一八三二）年、安政七（一八六〇）年の五カ年分が残されている。先述の「烏帽子着帳」と対応しており、同年の「烏帽子着帳」と「烏帽子割合帳」を比較することで烏帽子着に出席していた人物の名前と支払額が記されていることがわかる。各人の支払については「烏

帽子着帳」には記載がない。

文化四年の「烏帽子着帳」を見てみると、「惣領」

は一〇匁、「惣庶」は八匁を支払っている。おそらく、惣領は跡継ぎ、惣庶は次男などと考えられるが、誰が惣領、惣庶であるかについては記載されていない。しかし、同年の「烏帽子割合帳」を見てみると、納めた金額と名前の記載から、惣領、惣庶が明らかになる。

また、「烏帽子割合帳」の「客衆」の金額についても「烏帽子着帳」を合わせ見ること、烏帽子着に伴う振舞費用を出席者(出人、客衆、出人親)で人数割りした金額であることがわかる。この場合、一人あたり一匁四分五厘が支払額となるので、烏帽子着に二名出席している家は二匁九分、三人出席している家は四匁三分五厘となる。また、家ごとに名前と金額の記載があるため、「烏帽子着帳」ではわからなかった各家の人物構成もわかる。さらに惣領、惣庶の支払額について、「甚七」の項を見てみると、「拾匁 内式匁九分引 残七匁十六分不足」となっており、惣領が支払う十匁

から、甚七家の振舞費用二匁九分を引いた額を支払うことになっていたようである。

以上のように「烏帽子割合帳」は金銭面を主にしてあるものの「烏帽子着帳」では読み取ることのできなかった惣領、惣庶や家の構成などを明らかにすることができる。これらの史料は近世、近代における近江湖西地域の烏帽子着の実態とそれに関わる宮座組織、村落構造、身分秩序などを明らかにする基礎史料のひとつと位置付けることができるだろう。

キーワード…烏帽子着、成人儀礼、通過儀礼

〔注〕

- (1) 『暮らしと歴史のまなび方——知内「村の日記」からの出発』(「村の日記」研究会編 二〇一〇)に詳しい。
- (2) 柿本雅美二〇一三「史料紹介」知内区有文書「烏帽子着帳」『佛教大学宗教文化ミュージアム研究紀要』第九号
- (3) 注2に詳細を記載している。
- (4) 表題にはそれぞれ「ゑはし銀割帳」、「烏帽子割合帳」

「烏帽子着勘定帳」と記されていたが、本稿では最も使用が多い「烏帽子割合帳」を用いる。

〈参考文献〉

- 柿本雅美二〇一三「〈史料紹介〉知内区有文書「烏帽子着帳」」『佛教大学宗教文化ミュージアム研究紀要』第九号
高橋大樹・柿本雅美二〇一一「知内区有文書「成人成人別附留覚帳」」『佛教大学総合研究所紀要』一八
「村の日記」研究会編二〇一〇『暮らしと歴史のまなび方——知内「村の日記」からの出発』関西学院大学古川彰研究室

〈謝辞〉

本稿の執筆に当たって、高橋大樹氏、鎌谷かおる氏、郡山志保氏のご協力を得ました。加えて、知内区長ならびに知内区役員の方々のご協力を賜りました。末筆ながら感謝申し上げます。

「烏帽子割合帳」翻刻凡例

一、本史料は、滋賀県高島市マキノ町知内の帳蔵に保管されてきた区有文書の一つである「烏帽子割合帳」を翻刻したものである。

一、旧漢字・異体字は、原則として常用漢字に改めたが、固有名詞については、その限りではない。

一、各丁数を付した。また適宜傍注を「」で括弧を付した。

一、破損・汚損による文字判読不能の箇所は、字数が確定できる場合は□、確定できない場合は「」で示した。また抹消された字には左傍あるいは右傍にミセケチを表すゝを付した。

一、誤字・脱字等は(ママ)または(カ)と傍注を付すか、正字を()で傍示した。

一、史料中の合点のある箇所には、下線あるいは○を付した。

【寛政七(一七九五)年「ゑほし銀割帳」】

(表紙)

「寛政七年

ゑほし銀割帳

もろと中

卯ノ正月

」

(表紙ウ)

尤弟八匁出シ

出人拾匁 出シ

但シ忝人分

四匁当り

三匁九分^(六タ)□厘

同忝人分当り

七匁九分式厘 同忝人分当り

拾匁八分八厘 三人分当り

拾五匁八分四厘 四人分当り

(1才)

覚

一、拾匁

内八匁引

残式匁不足

一、拾匁

内八匁引

々式匁不足

一、拾匁

内八匁引

々式匁不足

一、拾八匁

内拾式匁引

残り六匁不足

一、拾匁

内八匁引

式匁不足

一、八匁

内拾式匁引

々四匁過

一、拾匁

内八匁引

式匁不足

半兵衛
安次郎

甚七
定次郎

新左衛門
彦太郎

太郎兵衛
三之丞
馬之介

徳左衛門
徳四郎

甚右衛門
甚四郎
甚兵衛

甚平
市衾

一、拾匁	市右衛門
	市兵衛
内八匁引	
式匁不足	
(1匁)	
一、拾八匁	茂右衛門
	伊介
内拾式匁引	金藏
式匁不足	
此かへ七百五十六文	
一、拾匁	又兵衛
	伝次郎
内八匁引	
式匁不足	
一、拾匁	源助
	又之丞
内拾式匁引	源四郎
式匁過	
一、拾匁	藤太夫
	藤太郎
内八匁引	
々式匁不足、八十五文取	仁右衛門
拾八匁	喜八
内拾六匁引	才六郎
式匁不足	市松

一、拾匁	庄兵衛
	文助
内拾式匁引	金四郎
式匁過	
一、拾匁	長右衛門
	惣市
内八匁引	
式匁不足	
一、拾八匁	藤介
	介五郎
内拾式匁引	藤兵衛
六匁不足	
七百五十六文	
(2匁)	
一、拾匁	太郎左衛門
	伊之助
内八匁引	
式匁不足、八十八文	
〆式百八十文	
一、八匁	七郎左衛門
	佐次郎
内八匁引	
八十八文造用	
一、拾匁	作右衛門
	作太夫
内八匁引	
式匁不足、八十八文	

ノ貳百五十文

一、拾匁

源太夫

内拾貳匁引

善兵衛
源五郎

貳匁過、百文渡ス筈

一、拾匁

孫右衛門

内八匁引

半四郎

貳匁不足

一、拾八匁

介右衛門

内拾貳匁引

与之介

六匁不足

乙松

一、拾八匁

孫四郎

内拾貳匁引

長松

六匁不足

安次郎

一、拾匁

清兵衛

内四匁引

六匁不足

(2ウ)

一、拾匁

市左衛門

内八匁引

岩松

貳匁不足

一、拾匁

喜兵衛

内四匁引

六匁不足、八十八文

六百六十四文

一、拾匁

利左衛門

内八匁引

又之丞

貳匁不足、八十八文

ノ二百八十文

一、拾匁

太郎太夫

内拾貳匁引

久次郎

貳匁過

林藏

一、拾八匁

宇左衛門

内拾貳匁引

忠兵衛

六匁不足

菊次郎

七百五十六文

一、拾匁

藤左衛門

内八匁引

忠左衛門

貳匁不足、八十八文

貳百八十文

一、拾匁

庄三郎

内四匁引

(3ウ)

一、拾匁

内拾貳匁引

貳匁過

喜兵衛

新兵衛

伊之助

一、拾八匁

内拾貳匁引

六匁不足

喜太夫

文五郎

千衾

一、拾八匁

内拾貳匁引

六匁不足

三四郎

吉次郎

辰之助

一、拾匁

内四匁引

六匁不足、八十八文

四郎三郎

六百六十四文

一、拾匁

内四匁引

六匁不足

吉左衛門

六百六十四文

一、拾匁

内八匁引

喜三郎

権吉

貳匁不足

一、拾匁

内八匁引

貳匁不足

久右衛門

次右衛門

一、拾匁

内八匁引

貳匁不足

茂兵衛

与惣吉

一、拾匁

内八匁引

貳匁不足、八十八文

又助

角次郎

(4才)

一、拾匁

内八匁引

二匁不足

久太夫

惣市

一、拾匁

内四匁引

六匁不足、八十八文取

又右衛門

一、拾匁

内四匁引

六匁不足

四郎左衛門

六百六十四文	一、拾匁	内四匁引	六匁不足、八十八文	メ六百六十四文	一、拾匁	内四匁引	六匁不足	一、拾匁	内四匁引	六匁	一、拾匁	内四匁引	六匁不足	六百六十四文	一、拾匁	内八匁当り	残二匁不足	出人六十九人	メ百九拾貳匁
七郎兵衛					八郎右衛門			喜助			次郎右衛門				甚左衛門	甚吉			
一、六百六十四文	(4ウ)	客衆	一、四匁	三百八十文	一、八匁	七百六十四文	一、八匁	一、四匁	一、四匁	一、四匁	一、四匁	一、四匁	一、八匁	一、四匁	一、四匁	一、四匁	一、四匁	一、四匁	一、四匁
長次郎		源三郎	惣左衛門	長左衛門	五右衛門	五兵衛	利右衛門	源兵衛	是迄七人	太兵衛	九右衛門	又左衛門	為五郎	三太夫	藤兵衛	市太夫	是迄七人	太右衛門	

知内区有文書「烏帽子割合帳」(柿本 雅美)

一、八匁	○ 六左衛門	此者五貫三百□□文	彌市	西濱
一、四匁	○ 六三郎	九十式文		
一、八匁	○ 六太夫	一、かすのこ式升	代百廿四文	
	源左衛門	一、壺升	代六拾文	太次右衛門
	永次郎	一、とうふ式箱	代貳百八拾八文	与兵衛
客廿壺人	四匁	一、廿八文酢	藤助	
一、拾匁	源吉	一、四匁	柴代	藤介
内四匁引	残り六匁	一、するめ	□三百八十文	引かへ
八拾人	拾六匁過	代廿五文	六十文	太次右衛門
九十六匁	(5才)	八十五文	六貫三百拾三文	出八拾九人
一、酒六斗	利右衛門			此割八拾八文宛
代六匁三分	壺貫百壺匁かへ			
六百三文				
一、酒貳斗五升四合	酒や 九郎左衛門			
代廿五匁四分	此者貳貫四百三十式文			
一、貳斗五升	酒屋 善四郎			
代廿五匁、貳貫三百九十八文				
三口八拾六匁三分				

正月十四日

酒肴代之入用

(5ウ)

一、拾壹匁六分五り過銀明神様へ入筈

一、百拾九匁八分五り 酒肴百四十一人分

此錢拾壹匁四百八拾式文

貳貫六百三十四文

米代村預り

七百五十六文

喜太夫殿分

百三十四文

式卜分

六十四文

四匁三分

二口ノ三貫三百九十文ノ九百五十六文

一、錢拾貫壹文

藤介殿へ預ヶ置

二口廿七匁ニ渡ス

(6才)

烏帽子人

一、久右衛門

次右衛門

一、太郎兵衛

九郎兵衛

一、甚七

七左衛門

一、徳左衛門

新左衛門

一、新治郎

甚左衛門

一、甚三郎

久太夫

一、小十郎

一、作左衛門

一、五右衛門

一、利右衛門

一、金右衛門

一、弥七

一、太左衛門

一、六右衛門

一、又左衛門

(6ウ)

一、甚四郎

一、七郎兵衛

一、太郎左衛門

一、源太夫

一、甚兵衛

一、太郎太夫

一、喜左衛門

一、喜兵衛

一、喜三郎

一、六太夫

一、源右衛門

一、介左衛門

藤太夫

六兵衛

太郎右衛門

弥右衛門

源介

茂右衛門

又六

左次右衛門

藤介

七郎右衛門

三太夫

孫右衛門

伝右衛門

久治郎

五郎左衛門

六左衛門

權兵衛

惣左衛門

五兵衛

知内区有文書「烏帽子割合帳」(柿本 雅美)

一、庄兵衛	久五郎	一、甚左衛門ノ子	猿千代
一、〇、半兵衛	七郎左衛門	一、左次右衛門弟	惣司 次郎介
一、左右衛門	四郎左衛門	一、五右衛門ノ子	惣司 与惣右衛門
一、〇、介右衛門	次兵衛	一、利右衛門ノ子	菊治郎
一、次郎左衛門	喜太夫	一、仁右衛門ノ子	庄吉
一、三四郎	八兵衛	一、源介ノ子	巳之介
一、〇、太右衛門	甚平	一、又左衛門ノ子	半五郎
(7才)		一、源太夫ノ子	太郎市
一、〇、仁右衛門	次郎兵衛	一、茂右衛門ノ子	惣司 安太郎
一、〇、茂兵衛	京ノ 作兵衛	一、太左衛門ノ子	儀左衛門
一、〇、藤兵衛	市左衛門	一、五郎左衛門子	惣司 次左衛門
一、〇、六兵衛	藤左衛門	一、庄兵衛子	岩松
一、彦左衛門	吉左衛門	一、彦左衛門子	菊松
一、太次右衛門		一、市左衛門子	(利左衛門 虎之介)
右七十七人		一、藤介ノ子	藤吉
(7才)		(8才)	
当午ノ暮出人附留		一、太郎左衛門子	惣司 久左衛門
一、甚平ノ子	左太郎	一、七郎兵衛子	惣司 新七
一、太兵衛ノ子	鶴治	一、三太夫子	伝四郎
一、市太夫ノ子	太吉	一、藤兵衛子	安左衛門
一、半兵衛ノ子	伊之介		

一、太右衛門子	丹六	一、太次右衛門子	岩治郎
一、次郎左衛門ノ子	三吉 ^{之丞}	(9才)	
一、喜左衛門子	菊次郎	同出人衾身立衆	
一、茂兵衛ノ子	安兵衛	一、甚四郎	同人子 岩松
一、久治郎子	市松	一、九右衛門	三郎 ^{長右衛門子}
一、作右衛門ノ子	作太夫	一、吉松 ^{勲右衛門子}	千太郎
一、喜太夫ノ子	左兵衛	一、与惣次郎 ^{次郎太夫子}	源兵衛子 又兵衛
一、権兵衛子	権右衛門	一、虎吉 ^{三郎右衛門子}	市太夫子 大吉
一、六太夫子	六次郎	一、七兵衛 ^{市右衛門子}	惣司 庄治郎
一、喜兵衛子	茂介	一、七右衛門 ^{伝六子}	作太夫
一、惣左衛門子	甚吉	一、茂右衛門	
一、久太夫子	甚六		
一、又六子	龜之介		
一、喜兵衛子	丑之介		
一、次兵衛子	清兵衛		
一、甚四郎弟			
(8ウ)			
一、金右衛門子	勘太郎		
一、喜三郎子	仁藏 ^{惣司}		
一、六兵衛子	三吉		
一、権兵衛子弟	伊之介 ^{惣司}		

【文化四(一八〇七)年「烏帽子割合帳」】

(表紙)

「文化四年

烏帽子割合帳

卯三月晦日 村役人」

(1才)

覚

一、拾匁

内式匁九分引

残七匁十六分不足

一、拾匁

内式匁九分引

残七匁壹分不足

一、拾匁

内式匁九分引

残七匁壹分不足

一、拾匁

内式匁九分引

残七匁壹分不足

一、拾八匁

○又兵衛

内五匁八分引
残拾貳匁貳分不足

(1ウ)

一、拾匁

内四匁三分五引

残五匁六分五引不足

一、拾八匁

内五匁八分引

残拾貳匁貳分不足

一、拾匁

内壹匁四分五引

残八匁五分五引不足

一、拾匁

内四匁三分五引

残五匁六分五引不足

一、拾匁

内式匁九分引

残七匁壹分不足

一、拾匁

内式匁九分引

残七匁壹分不足

惣七
文蔵

五右衛門
福泰

半右衛門

○仁右衛門

龜泰

庄吉

○源三郎
源右衛門子

源助

巳之介

○藤介

太郎市

○久五郎

福泰

(2才)	一、拾匁	内式匁九分引	残七匁壹分不足	一、拾匁	内式匁九分引	残七匁壹分不足	一、拾匁	内式匁九分引	残七匁壹分不足	一、拾匁	内式匁九分引	残七匁壹分不足	一、八匁	内五匁八分引	式匁式分不足	一、拾匁	内式匁九分引	残七匁壹分不足	(2ウ)	一、拾匁	○ 介右衛門
(2才)	○ 七郎左衛門寅泰	○ 又左衛門千太郎	○ 七郎兵衛勘六	○ 八郎右衛門音泰	○ 源太夫源治郎	○ 孫右衛門房泰	○ 熊治郎吉	○ 市左衛門卯之介	○ 利左衛門寅松	○ 源左衛門捨治郎	○ 庄三郎三之介	○ 五郎左衛門	○ 八兵衛千太郎	○ 熊治郎吉	○ 市左衛門卯之介	○ 利左衛門寅松	○ 源左衛門捨治郎	○ 庄三郎三之介	○ 五郎左衛門	○ 八兵衛千太郎	○ 熊治郎吉
(3才)	○ 内四匁三分五引	○ 残テ五匁六分五引不足	○ 一、八匁	○ 内四匁三分五引	○ 残テ三匁六分五引不足	○ 一、拾匁	○ 内二匁九分引	○ 残テ七匁壹分不足	○ 一、拾匁	○ 内四匁三分五引	○ 残テ五匁六分五引不足	○ 一、拾匁	○ 内式匁九分引	○ 残テ七匁壹分不足	○ 一、拾匁	○ 内壹匁四分五引	○ 残テ八匁五分五引不足	○ 一、拾匁	○ 内式匁九分引	○ 残テ七匁壹分不足	○ 熊治郎吉

又八文	半治郎	一、忝勿四分五り	茂兵衛
一、四勿三分五り	太郎兵衛	又八文	京
又十忝文	太四郎	一、忝勿九分	茂右衛門
	京	又八文	京
一、忝勿九分	甚平	一、忝勿九分	又介
又八文	左太郎	又八文	京
一、忝勿四分五り	清左衛門	一、忝勿四分五り	左治郎
又四文		又八文	
一、忝勿九分	甚右衛門	一、忝勿九分	太郎左衛門
又八文	甚四郎	又八文	伊之介
一、忝勿九分	甚左衛門	一、忝勿九分	孫四郎
又八文	甚吉	又八文	孫三郎
一、忝勿九分	市右衛門	一、忝勿九分	太郎太夫
又八文	市兵衛	又八文	林蔵
(4ウ)		(5オ)	
一、忝勿九分	庄兵衛	一、忝勿九分	宇左衛門
又八文	治兵衛	〃	亀之介
一、忝勿九分	長右衛門	一、忝勿九分	彦左衛門
又八文	長三郎	〃	伝七
一、忝勿九分	藤太夫	一、忝勿九分	勘右衛門
又八文	藤介	〃	茂兵衛

【文政四(一八二二)年「烏帽子割合帳」】

(表紙)

「辛 文政四年

烏帽子割合帳

村役人

巳 二月卅日

」

(1才)

出人

一、八匁

内 百七拾四文

引残 六百貳拾貳文

一、六匁

内 貳百六拾三文

引残 三百三拾三文

一、八匁

内 貳百六拾三文

引残 五百三拾三文

引残 五百三拾三文

引残 五百三拾三文

一、八匁

内 百七拾四文

残 六百貳拾貳文

一、八匁

内 百七拾四文

引残 六百貳拾貳文

(1匁)

一、八匁

内 百七拾四文

引残 六百貳拾貳文

一、八匁

内 百七拾四文

引残 六百貳拾貳文

一、壹貫六百元

内 貳百六拾三文

引残 壹貫三百三拾三文

一、壹貫六百元

内 百七拾四文

引残 壹貫四百貳拾貳文

一、八匁

引残 壹貫四百貳拾貳文

甚右衛門

甚四郎

惣左衛門

甚吉

九右衛門

喜兵衛

六兵衛

六三郎

利右衛門

利三郎

豊松

藤太夫

藤九郎

半右衛門

半右衛門

半右衛門

半右衛門

半右衛門

半右衛門

半右衛門

半右衛門

[illegible]

内 百七拾四文	半六	引残 四百四拾四文	伝太夫
引残 六百貳拾貳文		梶之介	
一、八匁	宇左衛門	一、八匁	市郎右衛門
内 貳百六拾三文	嘉七	内 百七拾四文	由松
	寅松	引残 六百廿貳文	
引残 五百三拾三文		一、八匁	吉兵衛
一、八匁	茂兵衛	内 八十五文	
内 八十五文		引残 七百拾壹文	
引残 七百拾壹文	藤左衛門	一、八匁	定七
一、八匁		内 百七拾四文	梅太郎
内 八拾五文		引残 六百廿貳文	
引残 七百拾壹文	庄三郎	一、八匁	権兵衛
一、八匁	宇八	内 貳百六拾三文	伊助
内 百七拾四文		引残 五百三十三文	伊之介
引残 六百貳拾貳文	五郎左衛門		
一、八匁	惣吉	一、八匁	与兵衛
内 百七拾四文		内 貳百六拾三文	与七
引残 六百貳拾貳文			鶴松
(3ウ)		引残 五百三拾三文	
一、八匁	彦左衛門		
内 三百五拾貳文	伝七		

知内区有文書「烏帽子割合帳」(柿本 雅美)

一、八匁	喜兵衛	一、八拾五文	市右衛門
内 百七拾四文	新助	一、百七拾四文	甚左衛門
引残 六百廿貳文		一、百七拾四文	茂右衛門
一、八匁	喜太夫	一、百七拾四文	又助
内 三百五拾三文	左兵衛	一、百七拾四文	又兵衛
	千松	一、八拾五文	甚兵衛
	儀松	一、八拾五文	四郎左衛門
引残 四百四拾四文		一、百七拾四文	七郎左衛門
一、六匁	四郎三郎	一、貳百六拾三文	仁右衛門
内 百七拾四文		一、百七拾四文	藤介
引残 四百廿貳文		一、百七拾四文	五右衛門
一、六匁	六左衛門	(5才)	
内 貳百六拾三文	弥三郎	一、百七拾四文	庄兵衛
	六三郎	一、百七拾四文	太郎兵衛
引残		一、百七拾四文	七郎兵衛
三百三拾三文		一、百七拾四文	長右衛門
(4ウ)		一、八拾五文	八郎右衛門
客衆へ割合錢覺		一、百七拾四文	孫右衛門
一、百七拾四文	半兵衛	一、貳百六拾三文	介右衛門
一、百七拾四文	甚七	一、百七拾四文	市左衛門
一、八拾五文	徳左衛門	一、百七拾四文	利左衛門

一、百七拾四文	太郎太夫	一、〃	藤兵衛
一、八拾五文	与惣左衛門	一、〃	又右衛門
一、百七拾四文	次郎左衛門		
一、百七拾四文	源左衛門	惣ノ六貫六百三拾九文	
一、八拾五文	権左衛門	割合入用	
一、八拾五文	次右衛門		
一、百七拾四文	八兵衛		
(5ウ)			
一、百七拾四文	六太夫		
一、〃	六兵衛		
一、〃	吉左衛門		
一、八拾五文	茂兵衛		
一、〃	喜介		
一、〃	三四郎		
一、〃	喜三郎		
一、〃	市太夫		
一、〃	三太夫		
一、百七拾四文	久右衛門		
一、〃	喜右衛門		
一、〃	又左衛門		
一、八拾五文	彦兵衛		

【天保三(一八三二)年「烏帽子割合帳」】

(表紙)

「天保三年

烏帽子割合帳

辰二月廿九日 村役人」

(1才)

一、八匁

内貳百貳拾八文引

残り五百六拾八文

一、六匁

内三百四拾貳文

残貳百五拾四文

一、八匁

内貳百貳拾八文

五百六拾八文

一、八匁

内貳百貳拾八文引

残五百六拾八文

一、八匁

藤兵衛

内百拾八文引

残六百八拾貳文

一、八匁

内貳百貳拾八文引

残五百六拾八文

一、八匁

内貳百貳拾八文引

残五百六拾八文

(1ウ)

一、八匁

内貳百貳拾八文引

残五百六拾八文

一、八匁

三百四拾貳文引

残四百五拾四文

一、八匁

内三百四拾貳文引

残四百五拾四文

一、八匁

内三百四拾貳文引

残四百五拾四文

市右衛門

甚右衛門

半右衛門

五右衛門

仁右衛門

庄兵衛

一、六匁 内三百四拾貳文引 残貳百五拾四文	藤太夫	残四百五拾四文 五百六拾	又介
一、六匁 内三百四拾貳文引 残貳百五拾四文	利右衛門	一、八匁 内三百四拾貳文引 残四百五拾四文	
一、八匁 内貳百貳拾八文引 残り五百六拾八文	三郎右衛門	一、八匁 内二百六拾八文引 残五百六拾八文	甚兵衛
(2才) 一、八匁 内貳百貳拾八文引 残五百六拾八文	庄兵衛	一、八匁 内貳百貳拾八文引 残五百六拾八文	太郎左衛門
一、八匁 内四百五拾六文引 残三百四拾文	源助	一、拾四匁 内貳百貳拾八文引 残壹貫百六拾八文	七郎左衛門
一、八匁 内貳百貳拾八文引 残五百六拾八文	源兵衛	(2ウ) 一、八匁 内百拾四文引 残六百八拾貳文	次郎太夫
一、八匁 内三百四拾貳文引	九右衛門	一、八匁 内貳百貳拾八文引 残五百六拾八文	七郎兵衛

知内区有文書「烏帽子割合帳」(柿本 雅美)

一、八匁	長右衛門	残六百八拾貳文	一、八匁	權左衛門
内貳百貳拾八文引			内貳百貳拾八文引	
残五百六拾八文			残五百六拾八文	
一、拾四匁	市左衛門			
内三百四拾貳文引				
残壹貫五拾四文				
一、八匁	太郎太夫		一、八匁	八兵衛
内三百四拾貳文引			内貳百貳拾八文引	
残四百五拾四文			残三百六拾八文	
一、拾四匁	彦兵衛		一、八匁	次右衛門
内三百四拾貳文引			内貳百貳拾八文引	
残壹貫五拾四文			残五百六拾八文	
一、六匁	卯左衛門		一、八匁	かわら屋
内四百五拾六文引			内百拾四文引	
残百四拾文			残六百八拾貳文	
(3才)			一、八匁	六太夫
一、八匁	庄左衛門		内三百四拾貳文引	
内貳百貳拾八文引			残四百五拾四文	
残五百六拾八文			一、八匁	太次右衛門
一、八匁	太兵衛		内百拾四文引	
内百拾四文引			残六百八拾貳文	
			(3ウ)	

一、百拾四文	源太夫	一、百拾四文	次郎兵衛
是分上之町		一、百拾四文	吉兵衛
一、百拾四文	八郎右衛門	一、百拾四文	甚左衛門
(4ウ)		一、貳百貳拾八文	権兵衛
一、貳百廿八文	孫右衛門	一、貳百貳拾八文	与兵衛
一、百拾四文	左次郎	一、百拾四文	中分 ^(膳) 老人おろし
一、貳百貳拾八文	升右衛門	一、三百四拾貳文	喜兵衛
中分老人おろし膳		一、貳百貳拾八文	喜太夫
一、三百四拾貳文	孫四郎	一、百拾四文	四郎三郎
下人おろし膳		一、百拾四文	□右衛門
一、貳百貳拾八文	清兵衛	一、三百四拾貳文	□左衛門
一、貳百貳拾八文	利左衛門	一、貳百貳拾八文	□左衛門 ^(太郎カ)
一、貳百貳拾八文	源左衛門	一、百拾四文	喜三郎
中分老人おろし		(5ウ)	
一、貳百貳拾八文	庄三郎	一、貳百貳拾八文	久右衛門
一、百拾四文	次郎右衛門	一、百拾四文	又左衛門
一、百拾四文	勘右衛門	一、三百四拾貳文	「」兵衛
一、貳百貳拾八文	五郎左衛門	一、三百四拾貳文	中分 ^(老人) □□おろし
一、貳百貳拾八文	市郎右衛門	一、百拾四文	□郎左衛門
(5才)			
一、百拾四文	定七		

惣ノ七拾壺「」

(6才)

場わり

上ノ町庭壺

出人壺人前二百拾文ツ、掛り

中ノ町庭

出人壺人前二百拾四文ツ、掛り

下ノ町庭

出人壺人前二百廿文ツ「」

(6ウ 墨付きなし)

【安政七(一八六〇)年「烏帽子着勘定帳」】

(表紙)

「庚 安政七年

烏帽子着勘定帳

当役

庄屋源太夫

申 三月十三日

(1才)

客分百四拾三人

又 壺人 定使

又 三拾三人 出人

合テ百七拾七人

飯米 壺石七斗七升

内 九斗九升 出人壺人前

三升ツ、出ル

メ七斗八升 座中持

此升

六斗式升四合

壺升附

壺分八り立

知内区有文書「烏帽子割合帳」(柿本 雅美)

代銀	六拾七匁		
	三分九り		
一、百拾六匁		燈物料	
貳分		壹人前	
		六分つ、	
一、酒四斗四升		壹人前	
貳合五勺		貳合半つ、	
		壹合附	
		貳分壹りつ、	
代銀	九拾貳匁		
	貳分三り		
(1ウ)			
右メ貳百七拾六匁			
	四分貳り		
内 貳百六拾匁		出銀	
		三拾三人分	
差引	拾六匁	不足	
	五分貳り		
此割	百七拾六人		
	壹人前貳拾四文宛不足		

一、八拾八匁		上ノ町	
		惣領	
		拾壹人出銀	
一、八拾八匁		中ノ町	
		惣領	
		拾壹人出銀	
一、八拾四匁		下ノ町	
(2オ)			
		惣領九人	
		惣應貳人	
		メ拾壹人出銀	
メ 貳百六拾匁			
一、百三拾貳文		上ノ町	
		送下ノ町勺	
一、百三拾貳文		中ノ町	
		送下ノ町勺	
一、貳百六拾四文		下ノ町	
		不足	
(2ウ 墨付きなし)			
		此分貳町を相渡ス	